

感動をありがとう！

中村選手 特別インタビュー



ラグビー W 杯 2019 日本代表
曾於市 PR 大使

中村 亮土 選手

今年の6月。宮崎でラグビー日本代表の合宿中に中村亮土選手の曾於市PR大使任命式が行われた。その後中村選手は見事メンバーに選出されW杯初出場ながら全5試合に先発出場。ベスト8という日本ラグビー史に残る快挙に貢献した。報告会にきた中村選手に改めて話を伺った。

——まずはW杯が終わったのお気持ちを教えてください。

新しく歴史をつくれたということは、自分たちがやってきたことに間違いなかったんだなっていう想いもあります。これまでたくさんの方が日本代表のユニフォームを着て戦ってきて、それを僕たちがしっかりと引き継いで、こういう結果を残せたんだと思います。なので今まで代表に関わってきた方たちにも感謝をしたいなと思います。

本当に思ってた以上の盛り上がりを見せていて、やりがいも感じましたし選手としては本当に夢の舞台でやることができ幸せでした。



10月13日の日本対スコットランド戦、20日の日本対南アフリカ戦で「ラグビーワールドカップをみんなで応援しよう会」を実施。計200名以上の方が集まって、中村選手の勇姿を見守り、応援しました。

——曾於市でも「中村選手が出るから見よう」って方もたくさんいたと思います。

ラグビーという魅力を知ってもらえて、好きになった方が増えてくれて嬉しく思っています。子どもたちが今後ラグビーに興味をもって、ラグビーボールを触って、日本代表になりたいって思えるようになったんじゃないかな、と。その憧れの存在で居続けないといけないと思うし、僕という身近な選手が頑張っている姿を見せ続けることが大事だと思うので、引き続き頑張っていきたいです。

——中村選手にとって曾於市というのはどういう印象ですか？

子どもの頃、夏休みはずっと曾於市にいました。じいちゃんちが牛を飼っていてそれの手伝いをしたり、大川原峽に行つてそこで釣りしたり川遊びしたり、色んなことをさせてもらって。

今東京にいますけど、自然に帰りたいなって思うくらいの田舎っぺで（笑）。自然が大好きな人間に育ったので僕が育ったと

ころと言っても過言ではないですし、僕の原点でもあるのかなと思います。

——曾於市の魅力といえは？

やっぱりお肉が美味しいですね！ よくじいちゃんばあちゃんを送ってくれるんです、僕一人じゃ食べきれないくらい大量に（笑）。この間もワールドカップ終わったあと、近所のチームメイトで家族集めてみんなまで食べました。みんなすごい美味しいって言うてました。

——今後の目標は？

今回達成感はあるんですけど最後負けて悔しい想いもあります。

すので、4年後のワールドカップでこれまで以上の結果を残すことです。

まだこれから都内のトップリーグもあって、外国人選手も集まってきています。レベルの高い戦いになってくると思うので、その中で自分もより高めていって成長させた上で、4年後のワールドカップを集大成としてやっていきたいと思っています。

PR大使としても僕ができることがあれば、何でもやります（笑）。恩返しの一環としてやらせてもらえればと思います。



中村 亮士・なかむら りょうと

1991年（平成3年）6月3日生まれ、鹿児島市出身。両親が曾於市財部町出身。高校からラグビーを始め、鹿児島実業高等学校から2010年に帝京大学に進み、主将として史上初の大学選手権5連覇に貢献した。2014年サントリーサンゴリアスに入団。ラグビーW杯2019に日本代表として全試合に先発出場。



11月1日に曾於市末吉本庁にて「ラグビーワールドカップ報告会」が行われ、100名以上の市民が集まりました。中村選手のあいさつのあとは質問コーナーもあり、市民のみなさんと交流がありました。